

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0801004

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	8 子育て・子育ての充実	事業優先度	B	
単位施策	2 「子育て」支援の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	入所児童通所事業	見直し年度	平成21年度	
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	8 保育所	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	運行便数		#N/A	
事業目標	2便	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	1 住民説明	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計画内容	運転業務委託	幌内地域からの入所児童通所	幌内地域からの入所児童通所	沢木・幌内地域からの入所児童通所業務委託	沢木・幌内地域からの入所児童通所業務委託	沢木・幌内地域からの入所児童通所業務委託
	バス燃料代	バス燃料代(1台分)	バス燃料代(1台分)	バス燃料代(2台分)	車両燃料代(2台分)	車両燃料代(2台分)
	通所事業用車両購入		1路線増やすことにより、バス1台購入(ジュニアシート購入)		車両車検代	車両車検代
	バス車検代					
計画事業費	事業費(千円)	20,315	1,650	7,535	3,710	3,710
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	1,500		1,500		
	地方債	0				
実績事業費	事業費(千円)	18,745	1,723	6,358	3,374	3,417
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	1,524		1,524		
	地方債	0				
関連事項	(特定財源の詳細等)地域政策総合補助金	【評価・実績】	(実施内容等)休止保育所地域の児童送迎(実績:1便運行) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等)幌内地域からの入所児童送迎(実績:1便運行) 22年度から使用開始のバス及びチャイルドシート購入 ※前年度評価結果 A-継続/拡充	(実施内容等)沢木・幌内・豊丘地区からの入所児童送迎(実績:2便運行) ※前年度評価結果 A-継続/拡充	(実施内容等)沢木・幌内・豊丘地区からの入所児童送迎(実績:2便運行) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持
	第4期総合計画関連(継続有り)	年度目標値	1便	1便	2便	2便
		年度達成率	104%	84%	91%	92%
		全体達成率	8%	40%	56%	73%
		事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆

事業名	入所児童通所事業	評価者 管理職 職氏名	保育所長	豊田通敏
		評価者 作成者 職氏名	児童保育係長	斉藤智美

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	幌内、沢木及び魚田地区からの保育所入所児童(3歳以上の就学前幼児)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	送迎の便数								
【抱える課題やニーズは】	遠距離通所手段の確保 遠距離通所児童数の減少	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	遠距離通所児童に対する安全な送迎	① 送迎の便数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>2便</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>2便</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	2便	実績値	2便	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	2便										
実績値	2便										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	通所にかかる保護者負担の軽減	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	遠距離通所児童の送迎	幌内、沢木及び青空保育所の廃止に伴い、当該地区の児童が若草保育所へ通所するための送迎を行った。									
	送迎に係る運転業務の民間委託	児童の送迎に係る車両(バス、ワゴン)の運転業務を民間に委託している。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	遠距離通所者にとって毎日の長距離の送迎は時間的にも金銭的にも大変であり、また、地域の保育所を廃止したときの条件(約束)の一つでもあるため、本事業は必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	運転のプロを要する事業所に委託していることにより、より安全及び確実に通所が行われている。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

課題あり	判断の理由	事業としては、効率的で目的を果たしているといえるが、通所児童が年々減少しており、通所児童一人当たりのコストが上昇している。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

概ね公平	判断の理由	地域の保育所を閉鎖したことによって発生した不利益を解消するための事業であるため、概ね公平性を保っているが、停留所の問題などでこれを利用しない家庭(地域)もあり、少しであるが不満の声も聞こえる。 ※ 上記の理由により、利用者にとって受益という考え方にはならない。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B	B	
保育所を閉鎖した地域に住む児童(家庭)が不利益にならないよう実施しているため、目的は達成されていると考えられるが、通所児童の減少によりコストがかかることが課題である。	同左	

今後の展開方向
(Action)



継続/内容の見直し・変更	継続/内容の見直し・変更	
保育所の統廃合時における地域との約束であるため、事業の廃止は難しいが、コスト削減が可能な方法を検討する必要がある。	同左	

※展開方向の区分
○継続/現状維持、拡充、縮小、統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止